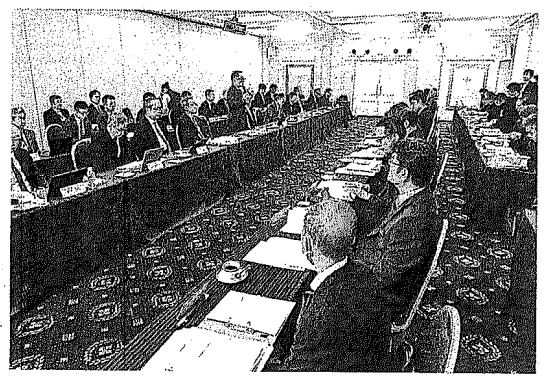
九建日報
2026（令和8）年2月5日

平準化や品質管理など情報共有

建コン協と沖総局らが意見交換

第4四納期率35%以下へ

（一社）建設コンサルタンツ協会（大本修会長）は3日、那覇市内で沖縄総合事務局等との意見交換会を開催した＝写真＝。担い手に係る議題では、建コン協が平準化や若手・女性技術者の活用・育成に係る取り組みの推進を要望。このうち平準化について沖総局は、7年度の第4四半期納期率が目標値としている「35%以下」を達成する見込みであることと報告した。また、建コン協、沖総局とも引き続き年間を通した納期の分散化に努めていく必要がある―等との認識で一致した。



係るテーマでは、建コン協が平準化の取り組みとして、納期分散目標の実現に向けた施策の展開などを提案。さらには若手や女性、シニアなど多様な技術者の活用・育成に係る契約・評価制度の改善等も要望した。

沖総局は平準化に関して、国土交通省が設定している納期および翌債・国債活用の目標に準じて取り組みを進めていることを説明。さらに7年度は、同局が納期率の目標値に設定している「第4四半期に35%以下」を達成する見込みであることを報告した。

若手・女性技術者等の取り組みでは「若手やシニア技術者の活用・育成制度を実施している」「女性技術者の活用・育成に係る施策として、7年8月より『えるぼし』の実施企業を評価する取り組みを進めている」などと説明した。

『技術力の選定』に関する議題では、建コン協が道路分野の計画系業務等について、設計業務等技術者単価の上昇に見合った業務規模（発注金額）に拡大するよう要望。沖総局は「引き続き適切に業務量に応じた発注を行っていく」などとした。

『品質』に係る議題では、建コン協が条件明示チェックシートを特記仕様書に添付するなど、契約図書として明確化することなどを要望。さらには、仮設設計（任意仮設）で受注者が、施工のために必要な図面や数量等の過大な成果を要求されるケースがあることを説明し、「指定仮設」と「任意仮設」の仕様書や設計協議における違いの明確化と特記仕様書への明記を図ることなどを求めた。

沖総局は、条件明示チェックシートを作成した業務では活用促進を図るため、特記仕様書に適切に記載し実施していることを説明。仮設構造物設計に係る条件明示では、発注担当部署に指定仮設か任意仮設か明確になるよう、設計条件を明示することなどを周知している―等とした。また、両案件ともに「関係部署に再度、周知徹底を図っていく」などと応じた。

『災害対応』の議題では、建コン協が災害業務の従事技術者について、既往業務に関する効果的な対応（業務の一時中止命令や工期延期の実施、管理技術者交代要件の緩和等）を要望。

沖総局は、災害業務対応者の既往業務の中止命令や工期延期は、受発注者協議の上で適切な対応を取るよう、各事務所に通知を発出して取り組んでいることを説明。管理技術者の交代要件は、必要な資格や経験を有するとともに、成果物の品質が確保できれば可能であると考えている―等とし、引き続き受発注者間で協議を行い対応していく意向を示した。

品質管理に係る議題では、条件明示チェックシートや仮設設計の取り扱いに関する認識等について、受発注者間で情報の共有を図った。

那覇市の琉球オリオンホテル那覇国際通りで開かれた意見交換会には、沖総局から逢坂謙志次長ら、沖縄県より前武當聡土木整備統括監ら、建コン協からは本部より大本会長（パシフィックコンサルタンツ）ら、九州支部からは穐山泰治支部長（西日本技術開発）らが出席した。

今年度は意見交換の議題は①担い手確保・育成のための環境整備②技術力による選定③品質の確保・向上④災害対応に向けた環境改善⑤DX推進の環境整備―等に係る取り組みについて。

このうち『担い手』に

九建日報

発行所
株式会社九建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表092(431)5361番
FAX 092(431)7613番
購読料1カ月7,800円

北九州支局
TEL093(383)8436
熊本支局
TEL096(273)8708
大分支局
TEL097(594)0518